

文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」
新潟大学「全学分野横断創生プログラム（NICEプログラム）」事業シンポジウム
令和5年度新潟大学全学FD・SD

分野横断的学習を支援するための アカデミック・アドバイジングと教職協働

概要

昨今の大学教育において、ダブル・メジャー、メジャー・マイナー、分野融合プログラム等、複数の学問分野の学習によって、今後の社会や学術の新たな変化や展開に対して柔軟に対応しうる能力を有する人材の育成を目的とした教育プログラムや制度に注目が集まっています。

学生自身の将来の目的・目標や興味・関心をもとに、学問分野を横断する学習を促進するためには、大学はどのように組織的に取り組めばよいのでしょうか。新潟大学では、文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」の採択を受け、全学分野横断創生プログラム（Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program）、通称NICEプログラムにおいて、学生が主体的にマイナーの学習を進められるよう、支援科目の開設やアカデミック・アドバイザーによる学習相談など、充実したサポート体制を構築してきました。また、そのようなサポートを全学的に広げ、持続的なものとしていけるように、運営者及び実務者向けのガイドラインを作成しました。

今回のシンポジウムでは、教学マネジメントのなかでも、特にアカデミック・アドバイジングに軸足を置き、学生の分野横断的学習を支援するために、教職協働でどのように取り組んでいけばよいのかを探ります。

<p>事例： 法学部のAさん</p> <p>新潟県内の自治体で データサイエンティスト として活躍したい！</p> <p>メジャー：法学</p> <p>マイナー：データサイエンス</p>	<p>事例： 農学部のBさん</p> <p>食料問題を解決 するために政治 について学びたい！</p> <p>メジャー：農学 (生物資源科学)</p> <p>マイナー：政治学</p>	<p>事例： 理学部のCさん</p> <p>1年生のうちから 現場の数学教育を 経験したい！</p> <p>メジャー：数学</p> <p>マイナー：学校教育実践</p>
---	---	--

日時

2023年9月15日(金) 13:30～16:00

形式

Zoomによるオンライン開催（参加費無料）

対象

大学教職員、高等学校教職員、企業関係者、自治体関係者、
及び新潟大学教職員

お申込み方法

9月8日(金)正午までに以下のwebページ、あるいは右のQRコードからお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/QRMSz6C3PZ>



お問い合わせ

新潟大学学務部教務課
renkeiyoiku@adm.niigata-u.ac.jp

プログラム

13:30-13:35 開会挨拶

坂本 信 (新潟大学理事 (教育・国際連携 担当) / 副学長)

13:35-14:15 基調講演「教職協働によるアカデミック・アドバイジング」

清水 栄子 氏 (追手門学院大学共通教育機構 / 教育支援センター准教授)

14:15-15:00 事業報告「NICEプログラムにおけるアカデミック・アドバイジングとその成果」

神田 麻衣子 (新潟大学教育基盤機構特任准教授)

柿原 豪 (新潟大学教育基盤機構特任准教授)

学生からの事例報告



15:00-15:50 パネルディスカッション

「分野横断的学習を支援する教学マネジメントとアカデミック・アドバイジング」

パネリスト

清水 栄子 氏 (追手門学院大学共通教育機構 / 教育支援センター准教授)

田中 一孝 氏 (桜美林大学リベラルアーツ学群准教授)

寺尾 謙 氏 (神奈川工科大学学生支援本部教務課課長)

山田 剛史 氏 (関西大学教育推進部教授 /
知識集約型社会を支える人材育成事業プログラムオフィサー)

福島 治 (新潟大学副学長 / 教育基盤機構副機構長)

浅賀 岳彦 (新潟大学副学長 / 教育基盤機構副機構長)

モデレーター

斎藤 有吾 (新潟大学教育基盤機構准教授)

15:50 閉会挨拶

浅賀 岳彦 (新潟大学副学長 / 教育基盤機構副機構長)

司会：上畠 洋佑 (新潟大学教育基盤機構准教授)